

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2479 号

Use of Traction table did not increase complications in total hip arthroplasty through direct anterior approach performed by novice surgeon.

牽引台ベッドを使用しても初心者の外科医が前方アプローチで行う人工股関節全置換術の合併症は増加しない

幡野 佐己依 (ばんの さみい)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、導入時に多くの合併症が生じるといわれる前方アプローチ (DAA) での人工股関節全置換術 (THA) を通常ベッドで導入開始した外科医 (通常群) と、特殊牽引台を使用した牽引ベッドで導入開始した外科医 (牽引台群) の 2 群の手術成績、術後成績を比較した論文である。

結果として牽引台の使用において初心者の外科医が前方アプローチで人工股関節全置換術を行っても術中・術後の合併症は増加せず、術後レントゲン成績なども変わらなかった。さらに術中平均透視時間と術中出血量は有意差をもって牽引台群の方が低く、より安全に安定して行えることを明らかにした。

これまで通常ベッドのみの術後成績比較や牽引台ベッドのみの成績を述べた研究は散見されるが、これらはすべて比較対象なしの単一研究であった。我々の知る限り、同一施設でかつ同一の指導者の下行った DAA-THA の Learning curve、手術・術後成績を 2 群間で比較した研究報告はなく、その結果を始めて明らかにした臨床的に意義ある研究論文である。